

V2H-充放電器の停電時操作方法 [ミライ:~20年11月]

・ミライは停電時にのみ給電が可能です。※車両は2020年11月まで生産分の手順となります。

<給電前に確認・実施すること（非常時用の専用回路へ切替）>

- ・V2H切替盤内のV2H漏電ブレーカーを「OFF」にしてください。
- ・車両からの電源供給を停電用（非常時専用）ラインにするため、切替開閉器を「自立側（非常時）」に切り替えてください。

⚠ 車両の故障につながる恐れがある為、V2H-充放電器に付属の12V電源ケーブルを使用しないでください。
また、V2H漏電ブレーカー「ON」状態で充放電コネクタを接続しないでください。

※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書をご参照願います。

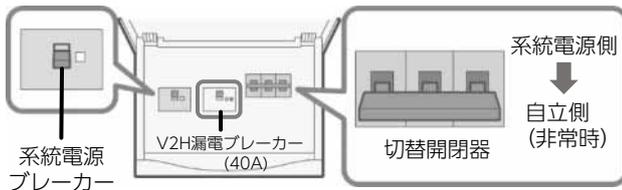
I. 給電開始の手順

CHECK

車両側

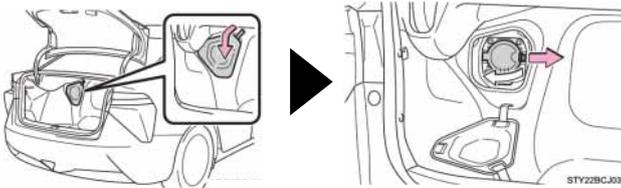
- ・「パーキングブレーキ」がかかっていること
- ・電源OFF状態（メータが消灯している）であること

- 1** V2H切替盤内のV2H漏電ブレーカーを「OFF」にする。
切替盤内の切替開閉器を「自立側」に切り替える。

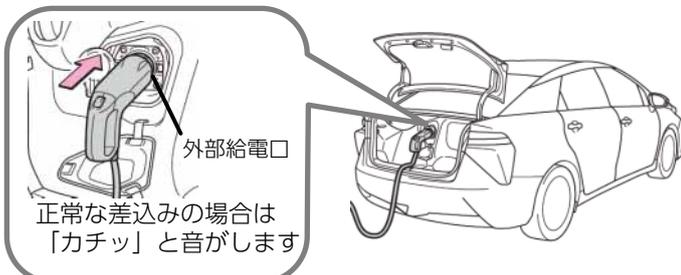


※本体の操作パネルにE29/E74/E100/E123が表示されますが、停電検知コードであり異常ではありません。

- 2** 車両のトランクを開き、カバーを開け、外部給電口のキャップを開ける。

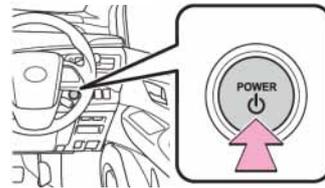


- 3** V2H本体のホルダから「充放電コネクタ」を取り出し、車両トランク後部の外部給電口に差し込む。



※手順4は右上へ

- 4** 「ブレーキを踏まず」に、「パワースイッチ」をゆっくり確実に2回押し「イグニッションON」にする。

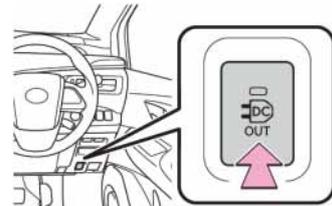


マルチインフォメーションディスプレイに「イグニッション ON」が点灯していることを確認してください。

※イグニッションONの表示は「パワースイッチ」を2回押した後、数秒程度掛かります。



- 5** 「DC OUTスイッチ」を押す。



- 6** V2H本体の「放電ボタン」を押す。



放電開始までに約7秒程度掛かります。
「コネクタロック」点滅⇒点灯⇒
「放電」点滅⇒点灯

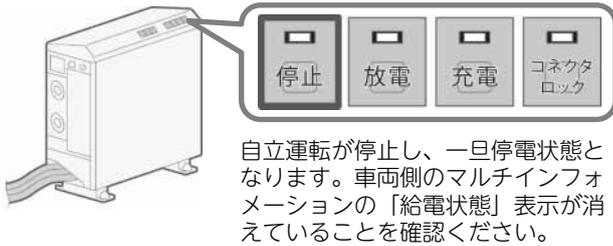
Point!

放電開始しない場合、パワースイッチを1回押下してイグニッションONを解除後、再度4から操作ください。

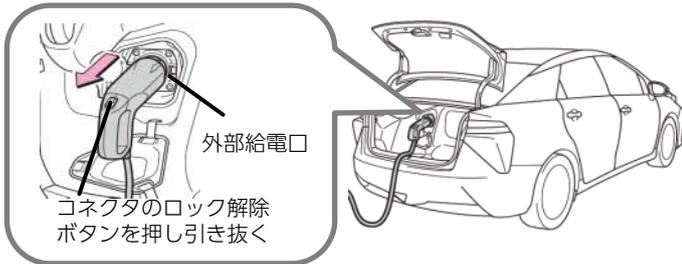
- 7** 準備が完了し**給電可能**となる。
使用する電気設備の電源を入れてください。

II. 給電停止の手順

- 1 V2H本体の「停止ボタン」を押す。



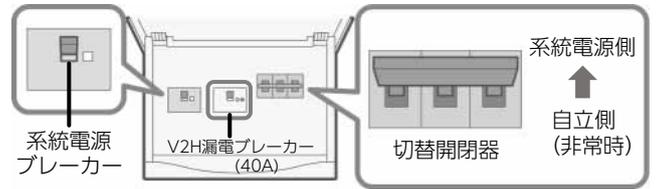
- 2 「充放電コネクタ」を外部給電口から引き抜き、キャップ、トランクを閉める。



※手順3は右上へ

- 3 V2H切替盤内のV2H漏電ブレーカーを「ON」にする。

- 4 V2H切替開閉器を「系統電源側」に切り替える。



※「復電時放電継続機能」設定をOFFにしていた場合、停電解消後は自立運転が自動停止します。

III. 給電開始後、過負荷により停止した場合の復旧手順

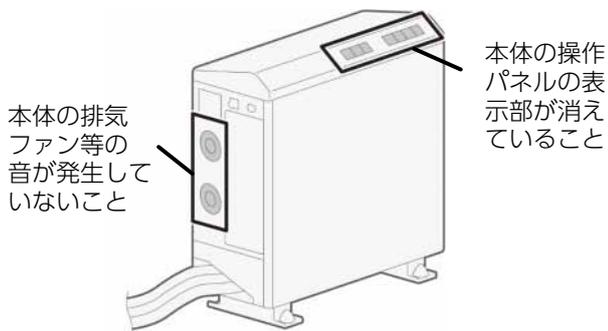
V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に給電が停止します。再度給電するためには、下記手順にて復旧準備を実施してください。

- 1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチはOFFにする。

CHECK

V2H本体側

- ・本体の操作パネルの表示部が消えていること
- ・本体から排気ファン等の音が発生していないこと



- 2 トランク内給電口の「充放電コネクタ」を取り外し、給電口のフタを閉める。

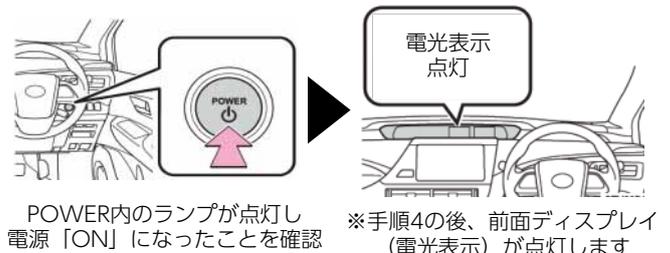
CHECK

車両側

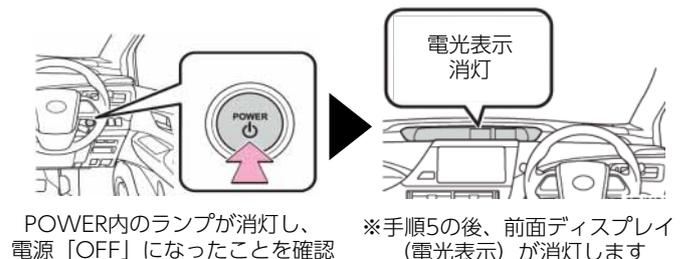
- ・「パーキングブレーキ」が確実にかかっていること

※手順3は右上へ

- 3 フットブレーキを踏みながら、「パワースイッチ」を1回押してFCシステムを起動する。



- 4 フットブレーキを踏みながら、「パワースイッチ」を1回押してFCシステムを停止する。



- 5 復旧準備が完了となる。「I.給電開始の手順」を改めて行い、給電可能となります。